

令和元年度 応 神 中 学 校 総 括 評 価 表

自 己 評 価		学校関係者評価		次年度への課題と 今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指数と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
ふるさとを深く愛し、心豊かに、未来をたくましく生き抜く生徒の育成 ①生活力の向上（あいさつ・歌声・清掃） ②学力の向上（基礎・基本の徹底，授業の充実） ③人間力の向上（人権教育，体験活動の充実） ④業務の効率化・ワークライフバランスの推進	（全校レベル） ①学級経営の充実 ②確かな学力の定着 ③心の教育の充実・強化 ④健やかな体の育成 ⑤特別支援教育の推進 ⑥自尊感情を高める教育活動の推進 ⑦生徒指導の徹底 ⑧教育相談の充実 ⑨人間形成を図る部活動経営の推進 ⑩教職員の資質向上 ⑪保護者・地域との連携 （組織レベル） ①生活力の向上（あいさつ・清掃・歌声） ②学力の向上（基礎・基本の定着，授業の充実） ③人間力の向上（人権教育の推進，体験活動の充実）	評 価 指 数	評 価 指 数 の 達 成 度	応神学園として保幼小中の保護者・地域・関係機関との連携を深めていくことで，充実した教育活動が行えるよう努力していくことが望ましい。そして，今よりさらに保護者同士の信頼関係が密になることを願っている。 落ち着いた学習環境の中で学習ができています。さらなる学力向上に向けて，学習習慣の定着をお願いしたい。 地域行事など，負担のないような形で生徒たちが活動できる場を提供していきたい。	
		①生徒理解に努め，学習指導要領に基づく，教育課程を実施し，学力の定着・向上を図り，定期テストの平均正答率を60%以上とする。 ②実態や課題に応じて，生徒へのきめ細かな指導や支援を行い，「楽しい学校生活を送っている」と答える生徒を80%以上とする。 ③学校と保護者・地域との連携，協力，信頼関係を築き，自主的・創造的に行動できる生徒を育てて行く。「目標をもって学校生活を過ごしている」と答える生徒を80%以上とする。	①定期テストの平均正答率を60%以上とすることができた。全国学力調査・徳島県学力ステップアップテストの結果での課題は見られ，学力向上に向けての取組が重要であることが明らかとなった。 ②「楽しい学校生活を送っている」と答える生徒を80%以上とすることができた。きめ細かい指導体制や生徒個人とのコミュニケーションの中での信頼関係を築き，様々な尺度による価値の多様性を認めていくことができた。 ③「目標をもって学校生活を過ごしている」と答える生徒は70%であった。応神学園として，保育所，幼稚園，小学校，その他各種団体と協力しながら，応神町の子どもたちとして育てて行くことができた。		総 合 評 定 (評定) A
		活 動 計 画	活 動 計 画 の 実 施 状 況		（所見） 全体に落ち着きのある，教育活動が展開できている。 小規模校の利点を活かし，一人ひとりにきめ細かな支援を行い，行事などを通して，学校生活に充実感や達成感を味わえることができた。 教職員から提案される新たな運営方法や活動を取り入れ，教育活動の活性化を図ることができた。
		①管理職との面談や職員会議や各種委員会を通し，全ての教職員の共通理解を図る。 ②授業時間の確保，学校行事や出張の精選を行う。 ③校内研修を通して，教職員のスキルアップを図る。 ④PTA活動や，学校行事の中で保護者の意見等を聞いたり，地域や関係機関との連携を密にし，応神学園としての協働体制を強化する。 ⑤業務の効率化や教員の意識改革を進めることにより教員の負担軽減を図り，生き生きとした職場作りをしていく。	①目標管理シートをもとにした面接や定期的な会の他，必要に応じて臨時の会合などを持った。 ②定期的な各教科の授業時数の確認や出張への対応として，時間割変更を行うことで時数の確保に努めた。 ③相互の授業参観を行ったり，職員室での意見交換を行うことで授業力向上に努めた。 ④学校評価の中間評価の活用やオープンスクールなどでのアンケートなどを通し，保護者や地域の方の意見を聞くことで，教育活動改善への方策を検討したり，関係機関との連絡調整に努め，円滑な教育活動の実践に努めた。 ⑤声を掛け合える風通しの良い職場づくりができ，年休等も無理なく消化できる体制をつくることができた。		

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった